

## 北薩感染症情報

2023年第36週(9月4日～9月10日)

【問い合わせ先】 〒895-0041 薩摩川内市隈之城町228番地1

北薩地域振興局保健福祉環境部(川薩保健所)健康企画課

電話 0996-23-3165 FAX 0996-20-2127

E-メール [kita-kenkou-shippei@pref.kagoshima.lg.jp](mailto:kita-kenkou-shippei@pref.kagoshima.lg.jp)

## 川薩・出水保健所における定点報告疾患

◎: 警報発令中 ○: 注意報発令中

定点種別	対象疾患	警報レベル			注意報レベル	川薩保健所管内					出水保健所管内				
		開始基準値	終息基準値	基準値		前週報告数(人)	今週報告数(人)	定点報告数	前週からの増減	警報注意報	前週報告数(人)	今週報告数(人)	定点報告数	前週からの増減	警報注意報
		定点報告数													
内科・小児科 定点	インフルエンザ	30.0	10.0	10.0	11	4	0.57	↓	—	15	10	2.00	↓	—	
	COVID-19	—	—	—	115	111	15.86	↓	—	66	102	20.40	↗	—	
小児科定点	RS	—	—	—	4	—	—	↓	—	1	—	—	↓	—	
	咽頭結膜熱	3.0	1.0	—	—	1	0.25	↗	—	1	5	1.67	↗	—	
	A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	8.0	4.0	—	6	7	1.75	↗	—	1	—	—	↓	—	
	感染性胃腸炎	20.0	12.0	—	14	9	2.25	↓	—	2	—	—	↓	—	
	水痘	2.0	1.0	1.0	—	1	0.25	↗	—	—	—	—	→	—	
	手足口病	5.0	2.0	—	1	4	1.00	↗	—	4	3	1.00	↓	—	
	伝染性紅斑	2.0	1.0	—	—	—	—	→	—	—	—	—	→	—	
	突発性発疹	—	—	—	2	3	0.75	↗	—	3	3	1.00	→	—	
	ヘルパンギーナ	6.0	2.0	—	1	3	0.75	↗	—	16	9	3.00	↓	◎	
	流行性耳下腺炎	6.0	2.0	3.0	—	—	—	→	—	—	—	—	→	—	
眼科定点	急性出血性結膜炎	1.0	0.1	—	—	—	—	→	—	/	/	/	/	/	
	流行性角結膜炎	8.0	4.0	—	3	3	3.00	→	—	/	/	/	/	/	
差幹定点	細菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	→	—	—	—	—	→	—	
	無菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	→	—	—	—	—	→	—	
	マイコプラズマ肺炎	—	—	—	—	—	—	→	—	—	—	—	→	—	
	クラミジア肺炎	—	—	—	—	—	—	→	—	—	—	—	→	—	
	感染性胃腸炎 病原体がロタウイルスに限る	—	—	—	—	—	—	→	—	—	—	—	→	—	
インフルエンザ 入院報告	—	—	—	—	—	—	→	—	—	—	—	→	—		
報告数合計		—	—	—	157	146	/	↓	/	109	132	/	↗	/	
<p>&lt;注意報・警報レベル&gt;  ・川薩保健所管内 なし  ・出水保健所管内 ヘルパンギーナ(警報レベル)</p> <p>&lt;全数報告&gt;  ・川薩保健所管内 なし  ・出水保健所管内 追加 結核1例(第35週)</p> <p>&lt;インフルエンザ様疾患による学級閉鎖等&gt;  ・川薩保健所管内 なし  ・出水保健所管内 学年閉鎖:阿久根市1件</p>															

定点種別	疾病	警報/終息基準値	注意報基準値	川薩保健所管内推移 (定点報告数) 基幹定点(報告数掲載)										
				27W	28W	29W	30W	31W	32W	33W	34W	35W	36W	
内科・小児科 定点	インフルエンザ	30.00/10.00	10.00	54.57	33.29	19.43	10.14	2.71	3.00	4.00	2.14	1.57	0.57	
	COVID-19	—	—	10.14	17.29	19.86	23.86	23.29	14.14	12.57	19.00	16.43	15.86	
小児科定点	RSウイルス感染症	—	—	1.75	0.75	0.75	0.75	1.00	1.50	2.00	0.75	1.00	—	
	咽頭結膜熱	3.00/1.00	—	—	0.25	—	0.25	0.25	0.50	—	—	—	0.25	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8.00/4.00	—	—	—	0.25	1.25	0.50	1.00	1.00	1.00	1.50	1.75	
	感染性胃腸炎	20.00/12.00	—	2.75	3.00	3.75	2.25	2.75	1.00	2.25	3.75	3.50	2.25	
	水痘	2.00/1.00	1.00	0.75	—	0.50	—	—	—	—	0.25	—	0.25	
	手足口病	5.00/2.00	—	2.75	3.00	2.75	1.50	0.25	0.50	0.50	1.00	0.25	1.00	
	伝染性紅斑	2.00/1.00	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	突発性発疹	—	—	1.25	0.50	0.75	0.25	0.50	1.00	0.50	0.50	0.50	0.75	
	ヘルパンギーナ	6.00/2.00	—	22.00	15.50	9.50	4.75	2.25	1.00	0.50	0.25	0.25	0.75	
眼科定点	急性出血性結膜炎	1.00/0.1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	流行性角結膜炎	8.00/4.00	—	3.00	—	2.00	10.00	10.00	1.00	3.00	—	3.00	3.00	
基幹定点	細菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	無菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	マイコプラズマ肺炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	クラミジア肺炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	感染性胃腸炎 病原体がロタウイルスに限る	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	

定点種別	疾病	警報/終息基準値	注意報基準値	出水保健所管内推移 (定点報告数) 基幹定点(報告数掲載)										
				27W	28W	29W	30W	31W	32W	33W	34W	35W	36W	
内科・小児科 定点	インフルエンザ	30.00/10.00	10.00	2.40	3.60	8.00	5.20	3.80	1.60	—	0.20	3.00	2.00	
	COVID-19	—	—	10.60	21.20	24.20	34.60	26.40	13.60	10.00	11.20	13.20	20.40	
小児科定点	RSウイルス感染症	—	—	14.33	18.67	16.33	15.67	11.67	7.00	2.33	—	0.33	—	
	咽頭結膜熱	3.00/1.00	—	0.33	1.33	0.67	0.33	0.67	0.67	1.33	0.33	0.33	1.67	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8.00/4.00	—	1.00	1.67	—	—	—	0.67	1.33	—	0.33	—	
	感染性胃腸炎	20.00/12.00	—	0.33	0.67	0.33	0.33	1.67	—	0.33	0.33	0.67	—	
	水痘	2.00/1.00	1.00	—	0.33	—	0.33	—	—	—	—	—	—	
	手足口病	5.00/2.00	—	0.67	1.00	0.67	1.33	—	—	1.00	1.00	1.33	1.00	
	伝染性紅斑	2.00/1.00	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	突発性発疹	—	—	0.33	—	—	0.33	—	0.33	—	0.33	1.00	1.00	
	ヘルパンギーナ	6.00/2.00	—	4.67	8.00	6.67	5.33	5.00	1.67	1.67	6.67	5.33	3.00	
基幹定点	流行性耳下腺炎	6.00/2.00	3.00	—	—	—	—	—	—	—	0.33	—	—	
	細菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	無菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	マイコプラズマ肺炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	クラミジア肺炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
感染性胃腸炎 病原体がロタウイルスに限る	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		

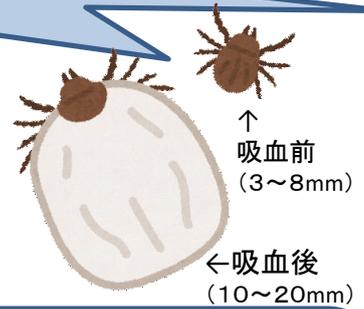
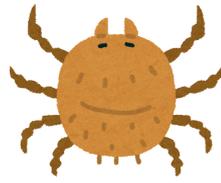
★第 36 週に関して、出水ではヘルパンギーナの警報が続き、阿久根市において学年閉鎖が 1 件ありました。川薩では警報や学年閉鎖はありませんが、報告数が増えている感染症が多々見られます。どちらの地域も引き続き感染症対策に心がけましょう。

★新型コロナウイルスに関する参考資料  
 新型コロナウイルス感染症 「診療の手引き」  
<https://www.mhlw.go.jp/content/000936655.pdf>

新型コロナウイルス感染症 「病原体検査の指針」  
<https://www.mhlw.go.jp/content/000914399.pdf>

新型コロナウイルス感染症 「罹患後症状のマネジメント」  
<https://www.mhlw.go.jp/content/000952747.pdf>

## マダニにご用心ください！



### マダニって怖いのか？

マダニはシカやイノシシ、野ウサギなどの野生動物が出没する環境に多く生息しています。さらに、民家の裏山や裏庭、畑、あぜ道などにも生息しています。病原体（細菌やウイルスなど）を保有するダニに刺されると病気を発症（ダニ媒介感染症）してしまいます。マダニに咬まれてから6日～14日で症状が出ます。マダニの持つウイルスによって疾患名が異なりますが、西日本に多いSFTS（重症熱性血小板減少症候群）は5月から8月に多く、致死率は10～30%程です。

### どんな症状がでるの？～SFTSの場合～

- ①発熱・倦怠感
- ②腹痛・嘔吐・下痢
- ③出血しやすい（あざ、下血など）
- ④リンパ節が腫れる（首、脇、脚の付け根など）
- ⑤筋肉痛・けいれん



### もしも咬まれてしまったら...？



#### 自分でマダニを除去してはいけません！

マダニの腹部を指でつまむと、マダニの体液成分が皮膚内に流入しやすくなり、ウイルスや細菌が侵入する可能性が高くなります。マダニは皮膚組織と固く接着し、吸血しているため、無理に引っ張ってしまうと皮膚内に口が残ってしまいます。マダニに気づいたら早めに医療機関を受診し、除去してもらいましょう。

※もし、自分でとってしまった場合は、マダニは捨てず、保管しておきましょう。症状が出て医療機関を受診する際に持参しましょう。早期治療の手がかりになるかも知れません。



### マダニ媒介感染症を防ぐには？



#### ①肌の露出を控える

- ・シャツやジャケットはズボンに入れる
- ・ズボンの裾は靴の中へ入れる
- ・袖は手袋の中へ入れる
- ・帽子も着用する
- ・ハイネックまたはタオルを首に巻く



#### ②室内に持ち込まない

- ・上着や作業着などは外で脱ぐ
- ・入浴時にマダニが体に付着していないか確認する
- ・衣類に付着しているマダニはガムテープなどで取り除く
- ・マダニの忌避剤（虫よけ剤）を使用する





# 今年も あなたの血を狙って 奴らがやってくる!

～ダニ・蚊の襲来に備えよ～

草むらに入  
る時は  
注意しよう!

肌の露出を  
減らそう!

虫よけ剤を  
使おう!

ペットの  
虫よけも  
万全に!

**蚊やダニは病気を持っているものもあり、咬まれないことが大切です。**

【ダニが媒介する感染症】重症熱性血小板減少症候群(SFTS)・ダニ媒介脳炎・日本紅斑熱・つつが虫病・ライム病 など

【蚊が媒介する感染症】日本脳炎・デング熱・チクングニヤ熱・ジカウイルス感染症 など

## 蚊・ダニに咬まれないポイント

### 蚊・ダニ共通対策

- 肌の露出を少なくする
  - 長袖・長ズボンを着用する
  - 足を完全に覆う靴を履く(サンダルなどは避ける)
- 明るい色の服を着る
- 虫除け剤を使用する

### ダニ対策

- 帽子・手袋を着用し、首にタオルを巻くなど
  - シャツの裾はズボンの中に、ズボンの裾は靴下や長靴の中に入れる
- ※野外活動後は入浴し、ダニに咬まれていないか確認しましょう。特に、首、耳、わきの下、足の付け根、手首、膝の裏などに注意しましょう。



蚊媒介感染症  
厚生労働省



ダニ媒介感染症  
厚生労働省



※各地域のダニ媒介感染症の状況については各自治体HPも参考にしてください。

# 食品による感染症！？



## 食べ物が原因ってどういうこと？

食品そのものは有毒ではなく、食べ物に付着している病原体（細菌やウイルスがもつ毒素）を体内に取り込むことで感染が成立してしまいます。つまり、食中毒のことです。食中毒の原因はいくつかありますが、その中に、細菌やウイルスもあります。

例えば、牛や豚はと畜場で解体処理を行います。その際に腸内に存在する病原性の細菌が内臓や表面に付着してしまいます。これは、新鮮なものか、どこで処理したものかどうかは関係ありません。また、精肉に限らず、様々な食品に病原体が潜んでいる可能性がありますので、対策をしっかりと行いましょう。

## どうやって防げばいいの？

### 細菌が原因となるもの

- ①細菌を食品につけない
- ②食べ物に付着した細菌を増やさない
- ③食べ物や調理器具に付着した細菌をやっつける

### ウイルスが原因となるもの

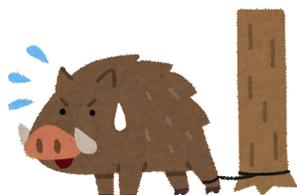
- ①ウイルスを調理場内に持ち込まない
- ②食べ物や調理器具にウイルスを広げない
- ③食べ物にウイルスをつけない
- ④付着してしまったウイルスを加熱してやっつける



### ポイント

- ・石けんで手を洗いましょう
- ・肉や魚はしっかりと中まで火を通しましょう
- ・調理後は直ちに冷蔵保存しましょう
- ・野菜はよく洗い、肉とはまな板や包丁などの調理器具を分けて調理しましょう

主な食品	病原体	流行時期	潜伏期	その他
生肉、生野菜	腸管出血性大腸菌	初夏～初秋	12～60時間	重症化する場合もあるが、加熱で防げる
生肉（特に鶏肉）、生野菜	カンピロバクター	高温多湿の夏場（特に9月）	2～7日	まれにギランバレー症候群を起こす
おにぎり、パン	黄色ブドウ球菌	5～10月	30分～6時間	熱に強い・細菌自体は健康人の鼻腔などにも生息
煮込み料理（カレーなど）	ウェルシュ菌	5月	6～18時間	熱に強いので、冷却保存が効果的
さしみ、すし	腸炎ビブリオ菌	夏（特に7～8月）	4～96時間前後	塩分のあるところで増殖
生卵、オムレツ、レバ刺し	サルモネラ菌	7から9月（特に8月）	6～48時間	乾燥に強く、熱に弱い
二枚貝、汚染された水道水	ノロウイルス	11月～4月（特に11月～2月）	1～2日	人の便や嘔吐物から感染する場合もある
生肉（豚・ジビエ）、レバー	E型肝炎ウイルス	雨期（東南アジアの場合）	6週間	ほとんど症状がない



# 家庭でできる 食中毒予防の6つのポイント

**point 1**  
食品の購入

毎日道しなないで  
まっすぐ帰ろう

肉・魚はそれぞれ  
分けておく

できれば  
保冷剤(冷)などと一緒に

肉類肉類などの  
表示をチェック!

**point 2**  
家庭での保存

買ったらすく冷蔵庫へ!

入れるのは7割程度に

肉・魚は汁が  
もれないように  
包んで保存

冷凍庫は  
10℃以下に  
維持

冷凍庫は  
-15℃以下に  
維持

冷凍中に庫内温度に  
変動を多める際の  
扉の開けは控えよう

**point 3**  
下準備

冷凍食品の  
解凍は  
冷蔵庫で

タオルや食巾紙は  
用途に合わせて

ゴキブリはこまめに  
駆除

このために  
手を洗おう

肉・魚を  
解凍したら  
風通しを付けておく

肉・魚は生で食べる  
ものから避す

調理器具  
よく洗おう

包丁などの道具、  
ふたなどは洗って別冊

井戸水を  
使っているなら  
水質に注意

**point 4**  
調理

加熱は十分に  
(ゆずは中心部分の  
温度が75℃で1分以上)

作業前に  
手を洗おう

台所は  
清潔に

電子レンジを使う  
ときはシート  
ははかれるようにする

調理を途中で  
止めたら  
食品は冷蔵庫へ

**point 5**  
食事

食事の前に  
手を洗おう

盛り付けは  
清潔な器具、  
食器を使う

長時間室温に  
放置しない

**point 6**  
残った食品

時間が経ち過ぎたら  
ちょっとでも臭いと感じたら、  
思い切って捨てる

作業前に  
手を洗おう

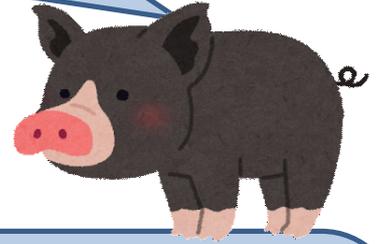
手洗い液、  
清潔な器具、  
密封で保存

速めにおかずを  
十分に加熱する  
(ゆずは75℃以上)

早く冷えるように  
小分けする

食中毒予防の3原則 食中毒菌を「付けない、増やさない、やっつける」

# 豚熱(CSF)とは…？



## 豚熱って何？

豚熱(CSF, 旧称:豚コレラ)とは, 豚熱ウイルスによる, 豚やいのししの熱性伝染病です。豚やいのししの間での感染力はとても強く致死率が高いことが特徴ですが, 人への感染は報告されていません。豚熱に感染した豚やいのししを摂食した場合も, 感染はしません。また, 豚熱は畜産伝染病予防法の家畜伝染病に指定されており, 感染した豚が発生した農場では, 飼育されている豚等を対象に防疫措置を行っています。畜産業者の方々が適切な飼養衛生管理をされていますので, 感染した豚やいのししが市場に出回ることもありません。

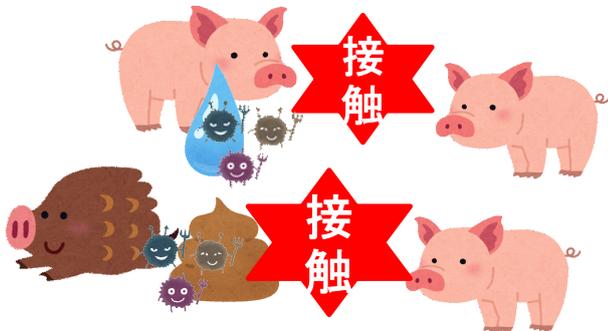


CSFワクチン接種後の  
豚肉も人体に影響はないよ!

アフリカ豚熱(ASF)とは別  
だよ!  
ASFも同様に人への感染  
は報告されてないよ!



## どうやって広がるの？



唾液・涙・糞尿中にウイルスを排出しています。感染豚との接触や汚染物品との接触等により, 容易に広がります。

## 気をつけることは？



野生いのししの感染も確認されています。いのししを寄せ付けないよう, キャンプや登山, 森林で作業される際は食べ物を野外に放置しないようにしましょう。また, 土にウイルスが潜んでいる場合もありますので, 靴裏の土はしっかりと落としましょう。

登山者・キャンパーや山林内で作業する皆さまへ

## 豚熱ウイルスの拡散防止にご協力をおねがいします。

野生いのししの中で豚熱という病気が広がっています。  
人間に感染することはありませんが、  
豚に感染して養豚業に大きな被害を与えます。  
ウイルスを山林から持ち帰らないよう、ご協力をお願いします。



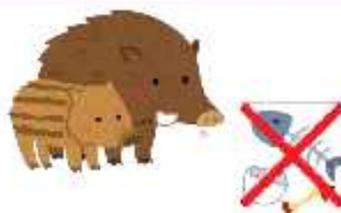
1

ウイルスは土にも含まれます。  
靴の泥は山で落としましょう。



2

いのししを誘引しないよう  
残飯は持ち帰りましょう。



3

家畜がいる施設に  
近寄らないようにしましょう。



4

いのししの死体を見つけたら  
管轄の自治体に連絡して下さい。



農林水産省 消費・安全局 動物衛生課

<https://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/csf/consumer.html>



## 県内でデング熱が発生しました！



### デング熱って？

ネッタイシマカやヒトスジシマカなどの種類の蚊に刺されることで感染します。デングウイルスというウイルスが原因となる感染症です。蚊に刺されてから2～14日(多くは3～7日)後に突然の高熱で発症し、症状は1週間近く続きます。症状が軽くなった後に再び症状が重くなったり、異なる症状が現れたりすることがありますので、一度症状が軽くなっても注意が必要です。まれに重症化することがありますので、早めに医療機関を受診しましょう。

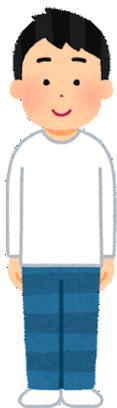
また、ヒトからヒトへの直接感染はありません。熱帯・亜熱帯(特にアジア、オセアニア、中南米)に広く分布し、海外で感染した人が国内で発症することもあります。

### どんな症状がでるの？

- ①発熱(2回にわたることも)
- ②頭痛
- ③眼窩痛
- ④筋肉痛, 関節痛
- ⑤食欲不振
- ⑥腹痛, 嘔吐, 吐気, 便秘
- ⑦胸部や体幹から広がる発疹(解熱時期)



### どういう対策をしたらいいの？



- ①肌の露出を減らす
  - ・長袖長ズボン着用する
  - ・素足でのサンダルを控える
  - ・薄い色の服を選択する



- ②刺されるのを防ぐ
  - ・虫除けスプレーを使用する
  - ・蚊取り線香を設置する



帰国時に症状がある場合は、速やかに検疫所に相談してください。  
帰国数日後に症状が現れた場合も最寄りまたはかかりつけの医療機関を受診してください。

感染症の運び屋 蚊 から

バリアーで 身を守れ!!!

- やぶなどの蚊がいそうな場所に行くときは、肌を露出せず、虫除けスプレーを使用するなど、蚊に刺されないように注意しましょう!
- ジカ熱やデング熱の流行地に渡航する場合は、現地で蚊に刺されないように注意しましょう!

虫除け剤でバリアー



虫除け剤を使いましょう

服でバリアー



出かけるときは肌の露出が  
少ない服装にしましょう

●なぜ対策が必要?

ジカ熱やデング熱は蚊を介して感染します。原因となるウイルスは、感染した人の血を吸った蚊(日本ではヒトスジシマカ)の体内で増え、その蚊がまた他の人の血を吸うときにウイルスを移し、感染を広げていきます。

●ジカ熱やデング熱に感染するとどうなる?

感染しても全ての人に症状が出るわけではありませんが、発熱や関節の痛み、発疹が出るといった症状が1週間ほど出ます。また、ジカ熱は妊婦が感染すると小頭症などの先天性障害をもった子どもが生まれたり、デング熱では出血を伴うデング出血熱となり重症化することがあります。



【ヒトスジシマカ】

背中に1本の白い線がある3~5mmほどの蚊で、5月中旬から10月下旬ごろまで活動します。雑木林・竹林・藪・墓地・公園などに見られます。特に日中に活発に吸血します。活動範囲は50~100m程度です。

ジカ熱・デング熱に関する詳しい情報は厚生労働省のHPをご覧ください。

ジカ熱 厚労省 検索



デング熱 厚労省 検索

